

ソーシャルメディアポリシー

奈良日独協会は、ソーシャルメディアを活動案内や緊急時の情報伝達における会員や一般の方々とのコミュニケーションに活用するため、ソーシャルメディアポリシーを策定しました。

奈良日独協会では、Web 技術を用いて不特定多数のユーザーが送受信を行いながら情報発信およびコミュニケーションを行うことが可能なメディアをソーシャルメディアと定義します。本ポリシーは、奈良日独協会の公式ソーシャルメディアの運用ルールや、会員個人のソーシャルメディア利用に関して定めたものです。

■奈良日独協会の公式ソーシャルメディア活用の目的

奈良日独協会は、会報やホームページなど従来のコンテンツに加え、ソーシャルメディアを通じて情報を発信・交流することで、会員および一般の方々双方向の対話を心がけ、協会の活動をより広い方々にもご理解いただくことを目的としています。

具体的には、

- イベント情報や会員の活動の様子を発信することで、ドイツやドイツ語学習、あるいは国際交流に興味がある方々が、情報に触れる機会を増やせるよう努めます。
- 会員や一般の方々とのソーシャルメディア上でのコミュニケーションを通じて、協会に対する皆さまのご意見等を伺い、協会や活動に何が望まれているかを理解するように努めます。
- 活動を支えてくださる会員や一般の方々について、多くの人にその様子を知っていただくように努めます。

■奈良日独協会の公式ソーシャルメディア一覧

奈良日独協会が運営する公式ソーシャルメディアは下記の通りです。これ以外のものは公式アカウントではありませんので、ご注意ください。

Facebook

「奈良日独協会 Facebook ページ」

<https://www.facebook.com/>

■ソーシャルメディア利用のガイドライン

奈良日独協会は、ソーシャルメディアの利用に関して、以下のようなガイドラインを設置します。このガイドラインは、公式アカウントならびに会員個人に対しても対象範囲といたします。

1. (表現の自由)

奈良日独協会は、運用者の表現の自由を尊重します。ただし、社会におけるさまざまな法令、ルール、マナーを遵守し、公序良俗に反しないことが大前提です。

2. (法令等の遵守)

ソーシャルメディアの利用にあたっては日本国の法令を遵守するとともに、諸外国の法令や国際法規も遵守します。特に、著作権や他者の名誉権、肖像権、財産権などの権利を侵害しないよう心がけます。

3. (人権の尊重)

ソーシャルメディアの利用では、利用者一人一人の人権を尊重し、異なる意見や考え方を尊重したコミュニケーションを心がけます。

4. (正確な情報)

伝聞や推測に基づく不確かな情報や、虚偽情報、欺瞞情報を伝達して社会を混乱させ、迷惑をかけないように心がけます。誤った情報を発信、誤解を与える表現をしてしまった場合は、訂正を行います。

5. (発言の責任)

ソーシャルメディアでは、匿名で発言したとしても、技術的に発言者を特定することができます。ソーシャルメディアで発言する際には、奈良日独協会の名誉を汚さない、良識ある発言を心がけ、情報発信や発言に協会としての責任を持ちます。

6. (守秘義務・機密情報の取扱)

ソーシャルメディアにおいて、活動上で知り得た守秘義務のある情報を許可無く発信・公開しません。

7. (免責文の記載)

ソーシャルメディアにおいて、奈良日独協会の会員であることを明らかにした上でコミュニケーションする場合には、自身の発言、行動が奈良日独協会の意見・見解を代表、代弁するものではないことを必ず明記してください。

また公式アカウントの発信内容について運用担当者個人の見解である場合は、協会の立場や意見を代表するものではなく、個人の見解である旨を明示します。なお、協会からの立場や意見を公表する場合は、別途正式に発表します。

なお、会員個人の発言が原因で発生した問題について、協会は一切の責任を負わないものとしています。

8. その他

- 協会への苦情等の対応はソーシャルメディア上では行わず、直接協会へ通知するよう促します。
- 会員個人の責任において行うコミュニケーション活動に対するご意見や反論は、それぞれのコミュニケーション活動やサービスを通して、発信者にお寄せいただきますよう促します。
- 会員個人が、奈良日独協会の活動などでソーシャルメディアを活用する際にも、上記のガイドラインに準じます。奈良日独協会の名前を使用する際にはご注意ください。

2018年3月制定